

皆さん、図書館を利用していますか？今回は1年間の締めくくりとして平成23年度に卒業される学生のみなさんに図書館について語っていただきました。

幼児保育学科ではどの授業でも絵本を使用する機会が多いです。自分の子どものころ読んでいた絵本を用意しなければならないのがほとんどなので、自宅から持参する人が大半なのですが、一人暮らしの私は図書館を利用していました。

絵本の種類は本当に豊富で、自分が持っている本、持っていないけれど読んだことのある懐かしい本たちがあって選ぶのを忘れて読み耽ってしまうこともありました。もちろん読んだことのない絵本を手にとって思わぬ発見をすることも多かったです。

気になる絵本は購入してじっくり読みたいのが本音ですが、個人でそれを叶えるのはなかなか困難なので、蔵書数が多く静かな空間でじっくり読むことのできる図書館は本当にありがたい場所でした。

童心にかえるために図書館の絵本コーナーを利用してほしいと思います。

幼児保育学科 2年 仙石麻衣子

【図書館が苦手な人でも】

私は、正直、これまで図書館をあまり利用しませんでした。不特定多数の人間が集まって、それぞれが同じ机で黙々と勉強している空気が、閑散としていてどうも息が詰まってしまうのです。しかし、本学の図書館は、グループ学習室があり、静かで独特の雰囲気が苦手だった私でも友人と互いに教え合いながら和気藹々と勉強ができました。分からないことがあっても手を伸ばせばすぐに参考書があり、一人の場合でも個別の机が縦並びであるので他人を気にせず、自分のペースで勉強ができます。

大学3年生になり、本格的に勉強への集中が必要となった時、人の目を気にせず自分の世界に入り込めるので、図書室を頻繁に利用するようになりました。

今まではあまり図書館と縁がなかった人も、利用してみてはいかがでしょうか？

医療衛生学科医療検査専攻 3年 岡林佑紀

2・3年生の授業の課題作成の時、図書館でいろいろな本を探し媒体作成をしました。患者様への説明の際に使用するものなので、分かりやすく・見やすくを心がけなければいけないので、絵の表現が苦手な私は苦労しました。もっとイラスト入りの本があるといいなと思ったことでした。

また、図書館で国試前の時期、教室内でクラスのみならず勉強するのと違う雰囲気、静かにじっくり取り組める環境がよかったです。

他学科の国試問題を目にもすることも出来、自分達だけでなく他学科の学生さん達も頑張っている様子が分かり、より一層自分自身の頑張ろうと思う気持ちに繋がりました。

後輩のみなさんも、頑張りました！

医療衛生学科歯科衛生専攻 3年 鍋島奨子

本学に入学して以来、よく図書館を利用させていただきました。年々看護に関する本を取り入れて下さり、また、とても静かな環境で勉強をすることができ、充実した本業を営むことができました。例えば、実習で受けもつことになった患者さんの疾患をより深く学ぶために、図書館の本や文献を利用したり、レポート作成時に参考資料を探したりするときによく利用しました。

3年生になってからは国家試験の勉強をするために、図書館の利用というものをもちと積極的に勉強にいかしていきたいと考えようになりました。度々図書館に通い、図書館にある問題集を活用しながら勉強し、無事に国家試験を終えることができました。図書館は勉強をする場でもあり、また同時に自らの課題の答えを見つけることのできる場であるとも思います。是非とも、大学生活の中に取り入れてみなさんに合った図書館の活用方法を見出してみてはいかがでしょうか。

看護学科 3年 山中智茜

開館時間のお知らせ

2012年 4月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2012年 5月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

□ 8:30~18:00

■ 休館

■ 4月5日(入学式)は
13:00~18:00

編集後記

らぶつく第11号をお届けします。
今回は「新入生に薦めるこの一冊」をはじめ、たくさんの先生方、学生、図書館委員、卒業年次生のみなさんに寄稿していただきました。
寄稿ありがとうございました。

らぶつく

No.11
2012.3

目次

本について……………1

図書館の蔵書を複写する
ときは「文献複写申込書」に記入してください
……………1

平成23年度学生図書館委員の活動を願ひて……2

数字でみる図書館利用状況 相互貸借(文献複写)の件数(2006—2011年度)……………2

新入生に薦めるこの一冊……………3

図書館利用のススメ(学生編)……………4

本について

らぶつくにエッセイを書くことになり、あらためて「本」について調べてみました。

Wikipediaによれば……

元来、「本」という漢字は、「物事の基本にあたる」という意味から転じて書物を指すようになった。古くは文(ふみ)、別に書籍、典籍、図書などの語もある。英語のbook、ドイツ語のBuchは古代ゲルマン民族のブナの木を指す言葉から出ており、フランス語のlivre、スペイン語のlibroはもともとラテン語の木の内皮(libera)という言葉から来ているとのこと。

ここで面白いことは、東洋では「概念」を表すのに対して、西洋では「様式」を表しており、東洋と西洋では「本」の元来の意味が違っている点です。

ここで、ハッとしました。

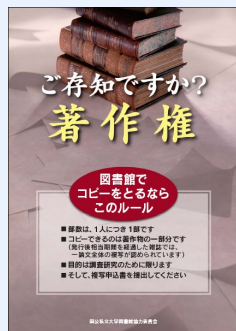
ほんの10年くらい前までは、何かについて調べるには、図書館の蔵書(事典や専門書などや雑誌)を利用するしかありませんでした。しかし今では、このように、まずはインターネットを利用して調べてみて、さらに詳しく調べたい時に図書館へ足を運ぶようになります。

図書館の蔵書を複写するときは「文献複写申込書」に記入してください

図書館のコピー機の前には右のようなポスターが貼っているのをご存知ですか。著作権とは知的財産権(知的所有権)の一つで、文化的な創作物(=著作物)と、その創作者(=著作権者)の権利を守ることを目的とし、著作権法という法律で保護されています。

通常、著作物を創作した時点で自動的に著作権が発生し、著作者の死後50年まで保護されるのが原則となっています。

図書館での複写は、著作権法第31条に基づき、



一定の範囲内で許されています。「大学図書館における文献複写に関する実務要項」(国公立大学図書館協力委員会)では、利用者が著作権法遵守に関する誓約書を兼ねた「文献複写申込書」に記入し、その複写が著作権法第31条の権利制限の条件を満たしていることを図書館職員が確認することで、その権利制限の範囲内とするという趣旨になっています。

そうすることにより図書館内に設置するコピー機による複写が適法とみなされます。本学図書館でもこの趣旨に則り、「文献複写申込書」の記入をお願いしています。

権利制限の範囲内であるための具体的な要件は、利用者側からみれば「文献複写申込書」記載の5項目です。



専攻科応用生命科学専攻 専攻長 森田 尚亨

平成23年度学生図書館委員の活動を顧みて

本学図書館では本年度、新しい取り組みとして、学生と図書館職員・図書館運営委員による図書館活性化のための活動をはじめました。各クラスに配置された学生図書館委員を通じて学生の皆さんのニーズを把握し、サービス向上に役立てるとともに、委員の皆さんには図書館の情報を広報するなどの支援をお願いし、図書館をより身近な施設として学生生活に大いに活用していただくことを目標にしています。主な具体的活動について学生図書館委員に書いていただきました。

◆選書活動をしてみて

幼児保育学科 2年 酒井真耶・下元智沙

図書館の図書選書をするにあたり、実際に図書館に出向き蔵書をしらべてみました。そこで気づいたのですが、かなり偏りがあるように思いました。例えば絵本の類は充実していますが、紙芝居が不十分であるとかです。また必要と思われる選書をしましたが、本当にこれで良かったのか不安もありました。1年目のことでしたし思うように活動ができなかったというのが本音ですが、図書館が堅苦しくなくのびのびとした雰囲気になるような画期的な何かを次の図書館委員に期待しています。

◆オープンキャンパスでの活動を振り返って

医療衛生学科医療検査専攻 2年 門田理佳

学科をとわず、たくさんの生徒さんが図書館を訪れてくれたことが嬉しく思えた。説明が足りなかったところや、その他、ハプニング等、様々な問題点、改善点があったけれど、一緒に来ていた友達同士で蔵書を興味深そうに見ていたり、感心したような声をあげていたことが印象的でした。

看護学科 2年 中越沙耶果

図書館委員として活動してきたなかで、オープンキャンパスの出来事が印象に残っています。初めてのオープンキャンパスでは、見学にきていたみなさんが興味を持って話を聞いて下さり「おーすごい！」などの言葉にとっても励まされたことを思い出します。短い時間のなかで図書館の良さを伝えていくことは難しかったですが、このような活動によって入学してきた方が図書館へ足を運ぶきっかけになればよいと思っています。

医療衛生学科歯科衛生専攻 2年 岸田梨穂、野々宮美咲

学生図書館委員として初めてオープンキャンパスの第2・3回目を担当しました。初めての参加だったので、3年生より前回の内容を伝達してもらっていたのですが、私達が緊張してしまって時間を見ないで行動してしまったので次の学科にご迷惑をおかけしてしまったことと、高校生に私達の学科の本を紹介する事ができなかったのがすごく残念でした。3回目は、前回のことを踏まえもう少し余裕もできて、一緒に参加した1年生の学生図書館委員さんと説明をリレー形式で行いました。参加の高校生や保護者の方が、私達の話真剣に聞いてくださったので大変うれしかったです。

◆学園祭での活動について

生活科学学科 2年 立石柚衣

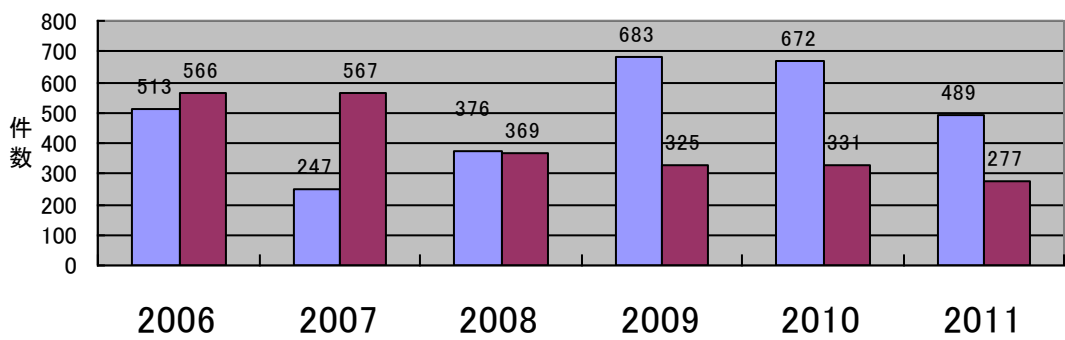
学園祭での活動により、本学の学生や教職員の方々に自分の好きな一冊を紹介していただき、また学園祭に来ていただいた近所の方々、他の学校の方々にも、高知学園短期大学の図書館の取り組みについて知っていただく機会となったと思います。しおりやブックカバーも遊びに来てくれた子供達に好評だったので、学園短大に興味を持っていただいたのかと思います。来年は、今年度よりも本学学生や近所の方々に図書館委員の取り組みついて知ってもらい、本を好きになってもらいたいと思います。

他の図書館から本を借りたり、文献の複写申込ができます



数字で見る図書館利用状況

相互貸借（文献複写）件数（2006～2011年度）



新入生に薦めるこの一冊

新入生の皆さんにぜひ読んでもらいたい本を各学科・専攻の先生方に紹介していただきました。

本との出会いは、あなたに新しい世界を開いてくれます。この機会にぜひ。

「養生訓」

貝原益軒著 講談社 1982年10月

江戸時代の本草学者であった貝原益軒は、今日の予防医学にも通用する健康法・食養生やメンタルヘルスについて80歳を過ぎ実体験から長寿を全うする為の「教訓」を書いています。書かれた内容は、現代の健康教育や予防医学に通じる極めて興味深い内容です。約300年前に書かれた書物とは思えないほど、飽食の時代に生きている我々にとって興味ある健康教育の実際に触れる事が出来ます。健康に関する多くの示唆を含む古典書として、紹介致します。

（生活科学学科 田村 隆教 先生）



「幼児の動きづくり」

桐生 敬子著 杏林書院 1997年3月

幼児期の遊びは、心身の諸能力の成長、発達に大きな影響をもっています。幼児が運動遊びをしたり、生活動作も含めて積極的な動きの取り組みが、生活のすべての面で心身ともに健康で健全に育つ基礎と言えます。遊びの中より得られる経験や、その経験で得た満足感は幼児の過程では、非常に大きく重要な意味を持ちます。幼児が、自由活発に個性豊かに創造性をのばしていけるように、手助けができるよう保育にかかわる人たちが保育の指導の手がかりの参考になれる1冊だと考えます。

（幼児保育学科 池澤 真由美 先生）



「なかのとおるの生命科学者の伝記を読む」

仲野 徹著 学研メディカル秀潤社 2011年12月

本書は生命機能研究科(大阪大学大学院)の教授である著者が、若き生命科学者に読んでもらいたいと連載したものです。小説よりも面白い研究者たちの驚愕の人生が描かれています。才能豊かな科学者には共通する特徴があるそうです。「豊かな鉾脈に対する臭覚がすぐれている。他人と同じものをみても見えるものが違う。虎の尾がある」とつい踏む。」波乱万丈に生きる科学者たちの人生の機微に触れることのできる一冊として推薦します。

（医療衛生学科 医療検査専攻 高岡 榮二 先生）



「浮世絵にみる歯科風俗史」

中原 泉監著 医歯薬出版 1978年5月

本学の図書館には、「浮世絵にみる歯科風俗史」中原泉監著、医歯薬出版(1978年)があります。この本に興味を持ったのは、日本で初めて日本歯科大学新潟生命歯学部が開館した「医学博物館」(1989年)を見学したことから始まります。古き歴史には人々の暮らしを垣間見る楽しさと医療の進歩を感じることができます。医療を目指すものとして本を通して「感謝」に触れられる一冊だと思います。

（右の写真はこの本の中の1頁）

（医療衛生学科 歯科衛生専攻 大野 由香 先生）



「語りかける身体 ―看護ケアの現象学」

西村 ユミ著 ゆみる出版 2001年3月

医学上は植物人間として存在する患者のケアを24時間つづけている看護師には、患者の瞳に看護師の姿が映る瞬間を実感するという。それは「馴染む」「慣れる」という意識の前段階であると西村は述べている。ICUで生きているだけで反応のない患者をケアーしている看護師には、身体が語りかけていると感じとる体験が多くあり、看護ケアの現象学という。人間は生きているかぎり、植物人間ということはあるにないのである。

（看護学科 伊藤 光代 先生）

